

(仮称) 堺都心未来創造ビジョン〈方針〉

(案)

令和 年 月
堺市

堺市基本計画2025
堺市SDGs未来都市計画

堺グランドデザイン2040
堺市都市計画マスタープラン

2025

2030

2040

- ▶ 多様な都市機能の導入・強化、商業機能の集積により、様々な人が集うエリア
- ▶ 人が安全・快適に過ごせるウォーカブルなエリア
- ▶ 居心地の良い豊かな海辺を体感できるエリア

- ▶ 「訪れたい」「働きたい」「住みたい・住み続けたい」都市
- ▶ 堺の発展を牽引する都心の形成

堺都心未来創造ビジョン

○位置づけと目的

本ビジョンは、「堺市基本計画2025」「堺市SDGs未来都市計画」が見据える2030年、「堺グランドデザイン2040」「堺市都市計画マスタープラン」が示す将来像を受け、堺都心部の活性化に向けた取組の方向性を示すものです。

市民、事業者、行政など、公民多様な主体とビジョンを共有し、段階的に取組を進めて発展させ、堺都心部の活性化を図ります。

○目標年次

堺都心部に関わる将来の動向を見据え、本ビジョンの目標年次を2040年度（令和22年度）とする。

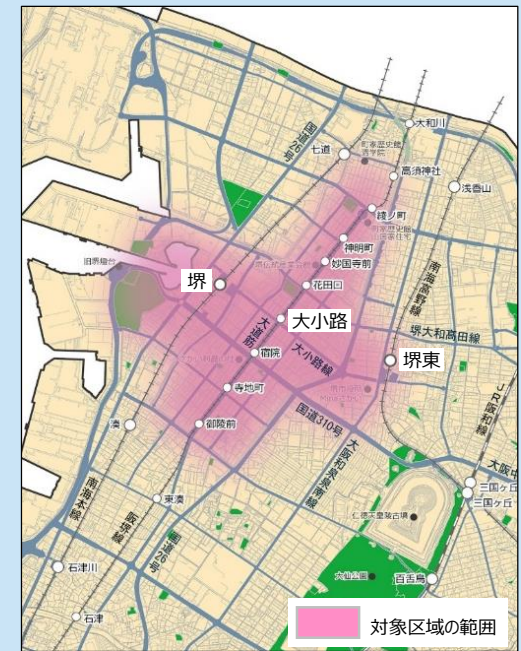
短期：概ね2025年度（大阪・関西万博の開催）

中期：概ね2030年度（なにわ筋線の開業、SDGsの目標年次）

長期：概ね2040年度（浅香山駅～堺東駅付近における高野線の高架化）

○対象区域

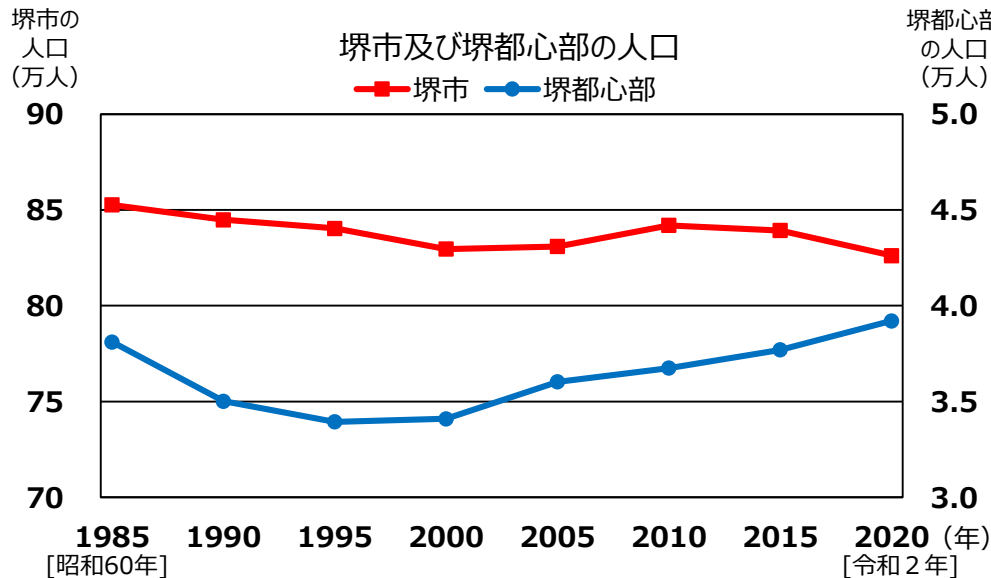
ビジョンの対象区域は、南海本線堺駅と南海高野線堺東駅の周辺を中心に、多様な都市機能が集積する本市の中心的な拠点として、活性化を進めていくべき概ね右図の範囲（約400ha）とします。



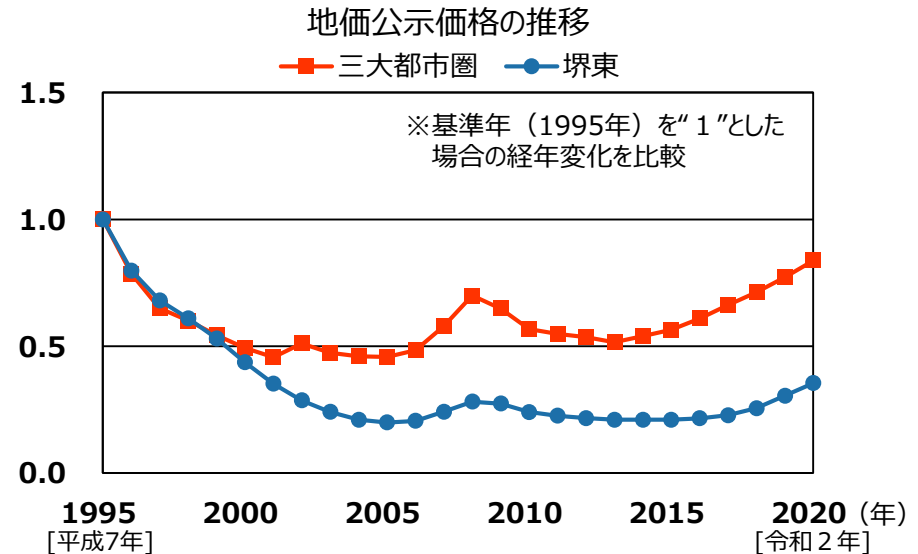
堺都心部の位置図
(堺市都市計画マスタープランより)

■現状

- 堺都心部の人口は微増傾向ですが、堺市全体の人口（美原町合併前は美原町を含む）は1985年（昭和60年）をピークに減少に転じています。
- 1990年代初頭のバブル崩壊後、三大都市圏では地価がかつての水準に戻りつつありますが、堺東の地価公示価格は、1995年（平成7年）の約1/3の水準にとどまるなど、堺都心部の地価水準は大きく低迷しています。



※堺市全体の人口は、現在の堺市の境域に基づいて組み替えた人口を示し、国勢調査のデータを基にグラフ化。
 ※堺都心部の人口は、市統計書のデータを基にグラフ化。

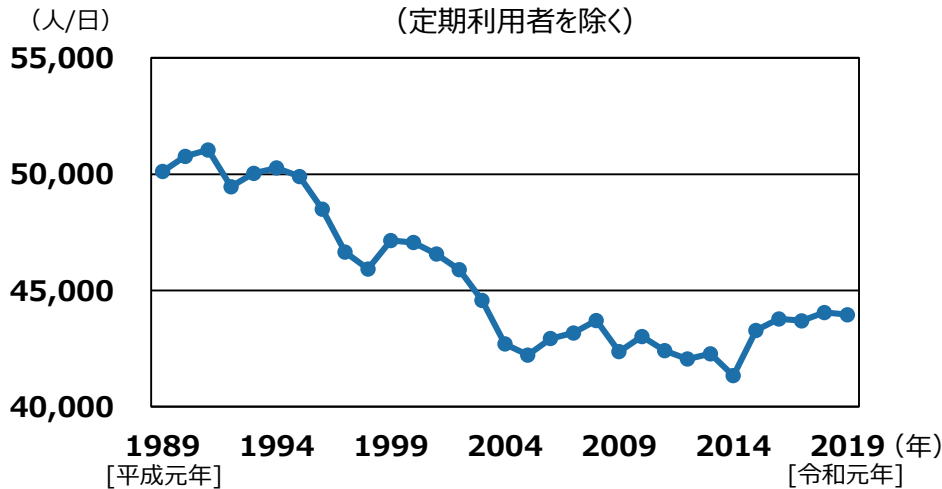


※国土交通省地価公示を基にグラフ化。
 ※三大都市圏は東京圏、大阪圏、名古屋圏の商業地1,042地点の地価公示価格の平均値、堺東は北瓦町2丁114番外の地価公示価格による。

■現状

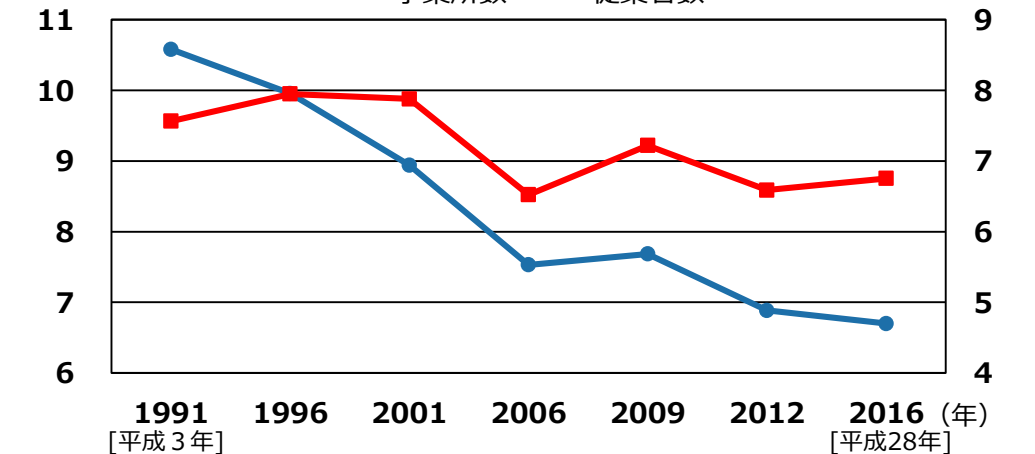
- 堺東駅及び堺駅の乗降人員の合計（定期利用者を除く）は、長期的にみると減少傾向です。
- 堺区の第3次産業の事業所数及び従業員数は減少傾向です。
- 堺都心部には、環濠の水辺や堺旧港の海辺、歴史を感じさせる寺社や史跡、特色ある文化・観光施設など、多くの地域資源が存在しています。

堺東駅・堺駅の乗降人員の推移
(定期利用者を除く)



※堺市統計書のデータを基にグラフ化。

堺区の事業所数及び従業員数



※事業所統計調査（1991年）、事業所・企業統計調査（1996年、2001年、2006年）、経済センサス基礎調査（2009年）、経済センサス活動調査（2012年、2016年）のデータを基にグラフ化。

※第3次産業（電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス業、サービス業（他に分類されないもの）の合計。

■活性化に向けて

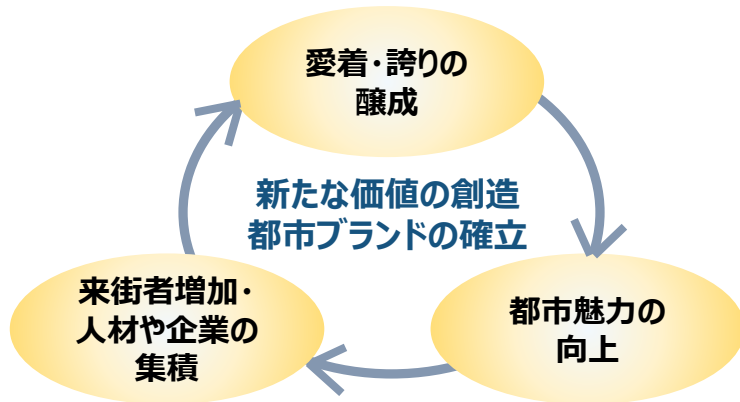
- 国全体の人口が減少する局面において、居住人口に加え、交流人口を増加させる。
- 自動車から公共交通への利用転換や利用促進を図り、人中心の都市空間とする。
- 商業・業務機能を集積させ、堺都心部の魅力や求心力を高める。
- 豊富な地域資源を活用した取組や、魅力の発信による都市イメージや認知度を向上させる。
- 気候変動をめぐる世界的な動向を踏まえ、「SDGs未来都市」として、脱炭素都市の形成を進める。

堺都心部の活性化に向けたコンセプト

<コンセプト>

多様な人が交流し、企業が集まる、堺の成長をけん引する魅力的な堺都心部
～新たな価値の創造と都市ブランドの確立～

堺都心部を活性化する取組を公民連携で進めることにより、都市魅力を向上させ、来街者の増加や人材・企業の集積、地域への愛着・誇りの醸成につなげます。
互いに好循環を及ぼしながら、新たな価値を創造し、都市ブランドを確立します。



<取組方針>

魅力を磨く ～地域資源を活かして魅力を高める～

・3エリア固有の地域資源を活かした堺都心部全体としての都市魅力向上



魅力を結ぶ ～人・地域・資源・情報・サービスを結ぶ～

- ・道路、公園、民間空地等の都市アセット（地域資本）の活用によるウォーカビリティ向上
- ・公共交通軸の強化や次世代モビリティの活用による、便利、快適かつ面的な移動環境の形成



魅力を育てる ～公民連携によるエリア価値の向上～

- ・公民多様な主体によりビジョンを共有し、協働して取組を進める体制の実現
- ・公民連携による持続可能な地域経営に向けた取組の推進

堺都心部の活性化に向けた取組の方向性

堺都心部の有する類まれな歴史文化資源等の地域資源を活かし、公民連携のもと、魅力を高め、人・地域・資源・情報・サービスを結ぶことにより、市内外から多くの来街者が行き交い、滞在する都市魅力にあふれた堺都心部の実現を図ります。

このことを通じ都市イメージを刷新し、また都市のブランド力が向上することにより、堺都心部を中心に多くの人材、企業、投資を惹きつけ、新たな価値を創造しつづける堺を実現します。

魅力を磨く

～地域資源を活かして魅力を高める～

- 観光**
 - ・ 歴史文化資源を活用した多様なコンテンツの創出
 - ・ 来訪者の受入環境の整備、情報の発信による来訪意欲の向上
- 産業**
 - ・ 伝統産業のブランド化
 - ・ オフィス機能の集積化
 - ・ サービス業の高付加価値化
- 都市空間**
 - ・ エリアの特性を活かした魅力ある都市空間の形成
 - ・ 多様な都市機能の集積・強化
- 環境**
 - ・ 革新的な環境技術等による建物等の脱炭素化の促進

魅力を結ぶ

～人・地域・資源・情報・サービスを結ぶ～

- 交通**
 - ・ 公共交通への利用転換や利用促進
 - ・ 公共交通の利便性向上やバリアフリー化、多様なニーズに対応したモビリティの導入による便利・快適な移動環境の構築
- 情報サービス**
 - ・ ICTを活用した堺都心部における様々な情報やサービスを包括的に提供することによる利便性や回遊性の向上
- 都市空間**
 - ・ 公共空間等を活用した居心地の良い人中心の空間の形成
 - ・ 多様な人々の出会いや交流の場となる滞在空間の創出
- 環境**
 - ・ 革新的な環境技術等による交通の脱炭素化の促進

魅力を育てる

～公民連携によるエリア価値の向上～

- ・ 地域に関わるプレイヤーの発掘、育成
- ・ 民の「やりたい」を実現できる体制、スキームの構築
- ・ 公民連携、エリアマネジメントを軸とした、公共空間などの活用及び維持管理の検討
- ・ 市民、事業者、行政など公民多様な主体とのビジョンの共有

取組方針 ～魅力を磨く～

地域資源を活かして魅力を高める

まちの顔・玄関口に 相応しい拠点性強化

国内外の来訪者が
堺に出会う交流拠点



旧港・環濠等水辺を
活かした滞留機能



姫路駅・キャッスルガーデン
出典：姫路市HP

豊かな時間を提供する
文化交流拠点



大和市文化創造拠点シラス 出典：同HP

水辺のアーバンライフを
楽しむ都市生活拠点



歴史ある堺の伝統・文化を 未来につなげる

歴史的なまちなみ景観
の保全・形成



伝統産業や歴史文化を
活かしたコンテンツづくり



「環濠エリア」の 特別感のある空間の形成

環濠の水辺を活かした空間の形成



アメリカ・サンアントニオ
出典：国土交通省



横浜市・大岡川
出典：国土交通省

環濠水辺と公園・
緑地の一体的な活用



市有地の活用



茨木市・IBALAB@広場
出典：茨木市HP

水辺の魅力を活かした 交流空間の形成

親水護岸&後背地への
商業機能導入



大浜北町市有地
活用事業



類まれな歴史文化資源を活かした 付加価値の高い観光メニューの造成

高い精神性を現代に伝える『茶の湯』をはじめ
堺が誇る歴史文化を体験



革新的な環境技術等による 脱炭素化の促進

建築物のエネルギー利用の効率化による
脱炭素化の促進



多様な人が集う 都市空間の創出

駅前街区の更新
連続立体交差化



瓦町公園周辺の更新
交流拠点の形成



都市機能の更新・強化
(低未利用地活用、リノベーション等)

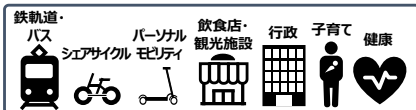


取組方針 ～魅力を結ぶ～

人・地域・資源・情報・サービスを結ぶ (SMIプロジェクト)

生活利便性や回遊性を高める 情報・サービス連携

様々なサービスを提供する“CaaS”の導入



移動手段の
一括予約・一括決済

回遊性を高める
情報の発信



出典：観光庁

公共交通の利便性向上、 ネットワーク構築

SMI都心ライン

SMI美原ライン



ベイエリアとの連携

大阪湾岸の海上交通

環濠の舟運



関西国際空港と神戸空港を結ぶベイシャトル
出典：Bay Shuttle HP

革新的な環境技術等による 脱炭素化の促進

公共交通への転換、車の電動化などによる
脱炭素化の促進



都市アセット (地域資本) の 活用によるウォークアビリティ向上

徒歩・公共交通への
利用転換

道路ランドスケープの
魅力向上



兵庫県姫路市
出典：国土交通省



道路・公園・民間空地などの都市アセットを活用した
滞留空間 (出会いの場・つながりの場) の創出



宮崎県日南市
出典：国土交通省



東京都豊島区
出典：国土交通省

楽しく円滑な移動を実現する ネットワーク形成

自転車利用の
利便性向上

周遊サイン整備
(デジタルサイネージ等)



新たな周遊交通
手段の導入



出典：国土交通省



デジタルサイネージ (新宿区)
出典：国土交通省

堺都心部の未来に向けた挑戦

近年、様々な分野で進む技術革新を背景に、生活スタイルや経済システムが急激に変化しており、数年先の世の中を誰も見通せない状況です。これまでの、長期的な計画を固めた上で様々な取組を行ってきましたが、急速に時代が変化する今日、長期計画ではなく「ビジョンと目標」を公衆で共有し、できることから素早く手掛け、その効果を検証しつつ、また環境の変化に対応しながら段階的に取組を積み重ねていくアプローチでプロジェクトを推進します。

まず、その第一歩として公共空間を中心とした人々の活動、交流、滞在を促す空間形成を進めます。

道路空間の活用

大小路筋・大道筋

歩道等の空間を活用した
滞在空間の創出



歩道空間の活用



丸の内仲通りアーバンテラス (千代田区)
出典：国土交通省

水辺空間の活用

環濠 (土居川・内川)

水辺を活用したイベントや
アクティビティの導入



環濠の水辺空間の活用



水辺のオープンカフェ (広島市)
出典：国土交通省

海辺空間の活用

堺旧港

海辺の魅力を活かした
交流空間の形成



護岸後背地への商業機能導入



中之島 (大阪市)
出典：国土交通省

SMIプロジェクト

大小路筋・大道筋など

回遊性の向上と
拠点間ネットワーク構築



SMI都心ライン



阪堺線の利便性向上



SMI美原ライン



次世代モビリティ



シェアサイクル



ターゲットとロードマップ

		短期～中期（～2030年） 2025年		長期 （～2040年）
ターゲット	市民等	公民空間等での活動や交流の促進	多様な活動や交流による新たな価値の創出	
	来訪者	市内外からの来街を促進	周辺地域からの来訪地、観光客の立ち寄り地として定着	
取組方針1 魅力を磨く ～地域資源を活かして魅力を高める～		魅力あるエリア形成に向けた交流空間創出	多様な都市機能の導入・強化 市街地の更新、都市空間の再編	
		歴史ある堺の伝統・文化を活用した取組の推進		
取組方針2 魅力を結ぶ ～人・地域・資源・情報・サービスを結ぶ～ <SMIプロジェクト>		道路等の公共空間の活用	道路や民地を含めた沿道空間を活用した滞在空間・交流空間の形成	
		公共交通の利便性向上やバリアフリー化、次世代モビリティなどの活用 CaaSの導入	技術の進展等に 応じた進化・更新	
取組方針3 魅力を育てる ～公民連携によるエリア価値の向上～		公民連携による段階的取組・機運醸成	組織による運営開始	
		制度検討、導入		